

【名 称】旧西垣家住宅

【所在地】丹波篠山市大山上277番地1、  
276番地

【指定番号】第6号

【指定年月日】平成29年8月25日

【構 造】①主屋（木造平家建）  
②土蔵（土蔵造2階建）  
③離れ（木造2階建）  
④納屋・牛小屋（木造平家建）  
⑤土塀

【敷地面積】2,074.77 m<sup>2</sup>

【建築面積】480.26 m<sup>2</sup>

【延床面積】580.88 m<sup>2</sup>

【建築年代】江戸時代～昭和



旧西垣家住宅

【建造物の由来・沿革・特徴】

旧西垣家住宅の存する大山地区は、複数の谷筋が存在し、それぞれの谷筋ごとに集落が形成されてきた。旧西垣家住宅はその谷筋の一つにあって、山林地主（林業振興の大庄屋）の住居（主屋、離れ）かつ生産施設（作業の男衆が宿泊した納屋・牛小屋）として建設された。現在においても山林、河川、田畑など周辺環境を含めた敷地全体に渡ってほぼ往時の姿を留めた貴重な歴史的景観を形成している。



位置図

【指定理由】

旧西垣家住宅は、大山地区の3大庄屋住宅の1軒であり、地区を代表する大規模な建造物で、周囲の山林と一体となった景観を形成している。

また、大山地区では、長い歴史の中で培われた「趣法の精神」という相互扶助の精神が今も生きており、その先頭に立った西垣家の住宅として親しまれていることから、景観重要建造物指定により、地域の活性化や周辺景観の保全の啓発効果が期待される。

周囲の山林と共に大山地区の歴史を語り、地区独自の景観を形成する本建造物は、景観重要建造物にふさわしい資質を有している。